



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場会社名 エスペック株式会社
 コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート統括本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石田 雅昭
 (氏名) 大島 敬二

TEL 06-6358-4741

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	25,662	1.7	1,573	△20.5	1,475	△30.7	964	△30.3
28年3月期第3四半期	25,224	17.4	1,980	44.1	2,130	26.4	1,383	10.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △127百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 1,271百万円 (△22.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	42.28	—
28年3月期第3四半期	59.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	45,106	34,787	77.1	1,522.82
28年3月期	48,045	35,633	74.2	1,564.55

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 34,787百万円 28年3月期 35,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	23.00	32.00
29年3月期	—	12.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	20.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	△2.7	3,000	△14.8	2,850	△20.2	2,000	△17.0	87.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	23,781,394 株	28年3月期	23,781,394 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	937,414 株	28年3月期	1,005,514 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	22,809,907 株	28年3月期3Q	23,088,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善に伴い緩やかな回復基調が継続いたしました。が、円高の進行や中国経済の減速、英国のEU離脱問題などにより先行き不透明な状況となりました。米国大統領選後には円安基調となり一部で景況感の改善が見られました。

当社の主要顧客におきましては、自動車関連メーカーでは積極的な投資が継続いたしました。

こうした中、当社は、グループ連携の強化により海外市場での売上拡大に取り組むとともに、電気自動車などのエコカーや自動運転技術の開発が加速する自動車市場や、医薬品を中心とするライフ市場において事業領域の拡大に取り組んでまいりました。

こうした結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同四半期連結累計期間比で受注高は0.9%減少し30,744百万円となり、売上高は1.7%増加し25,662百万円となりました。しかしながら利益面につきましては、営業利益は原価率の悪化などにより20.5%減少し1,573百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は為替差損の増加などにより30.3%減少し964百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	31,017	30,744	△0.9
売上高	25,224	25,662	1.7
営業利益	1,980	1,573	△20.5
経常利益	2,130	1,475	△30.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,383	964	△30.3

セグメント別の業績

当第3四半期連結累計期間のセグメント別業績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益又は 営業損失 (△) (百万円)
装置事業	25,516	21,076	1,396
サービス事業	4,478	4,070	243
その他事業	960	717	△69
連結消去	△211	△202	2
計	30,744	25,662	1,573

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場ではカスタム製品が堅調に推移いたしました。海外市場では、東南アジア・欧州向け輸出が減少したものの、中国・台湾の売上高は輸出・現地子会社ともに堅調に推移いたしました。環境試験器全体では受注高は好調であった前年同四半期連結累計期間比でわずかに下回りましたが売上高は増加いたしました。

エナジーデバイス装置につきましては、燃料電池評価装置が好調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。

半導体関連装置につきましては、自動車関連を中心に堅調に推移し、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間比で増加いたしました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は0.9%減少し25,516百万円、売上高は3.5%増加し21,076百万円となりました。営業利益につきましては製品構成の変化に伴う原価率の悪化などにより13.2%減少し1,396百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	25,738	25,516	△0.9
売上高	20,367	21,076	3.5
営業利益	1,608	1,396	△13.2

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、受注高・売上高ともに前年同四半期連結累計期間並みとなりました。

受託試験・レンタルにつきましては、自動車市場において主力のテストコンサルティングが堅調に推移し、受注高・売上高ともに好調であった前年同四半期連結累計期間並みとなりました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同四半期連結累計期間比で受注高は1.7%増加し4,478百万円、売上高は1.2%増加し4,070百万円となりました。営業利益につきましては、原価率の悪化などにより前年同四半期連結累計期間比で34.4%減少し243百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	4,405	4,478	1.7
売上高	4,023	4,070	1.2
営業利益	371	243	△34.4

<その他事業>

水辺づくりが堅調に推移いたしました。植物工場および森づくりが低迷し、前年同四半期連結累計期間比で受注高は10.3%減少し960百万円となり、売上高は29.9%減少し717百万円となりました。利益面につきましては、販管費の増加などにより69百万円の営業損失となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (28年3月期) (百万円)	当第3四半期連結累計期間 (29年3月期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	1,071	960	△10.3
売上高	1,022	717	△29.9
営業利益又は営業損失 (△)	0	△69	—

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの業績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は45,106百万円で、前連結会計年度末と比べ2,938百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加911百万円、受取手形及び売掛金の減少4,969百万円、仕掛品の増加790百万円などによるものであります。また、負債は10,319百万円で前連結会計年度末と比べ2,092百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,429百万円、未払法人税等の減少471百万円、賞与引当金の減少267百万円などによるものであります。純資産は34,787百万円で前連結会計年度末と比べ846百万円の減少となり、その主な要因は利益剰余金の増加164百万円、その他有価証券評価差額金の増加212百万円、為替換算調整勘定の減少1,339百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において業績計画を修正すべき状況が発現していないことから、平成28年10月28日に発表した数値から修正していません。

また、実際の業績等に影響を与える可能性のある重要なリスクは、平成28年3月期決算短信の6ページに記載の「事業等のリスク」から変更ありませんが、業績の影響を与える要因は、これらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度より重要な変更はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,299	9,211
受取手形及び売掛金	15,968	10,999
電子記録債権	989	1,381
有価証券	1,901	1,901
商品及び製品	896	1,067
仕掛品	1,792	2,582
原材料及び貯蔵品	1,656	1,820
その他	2,184	2,316
貸倒引当金	△49	△27
流動資産合計	33,640	31,253
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,689	3,423
土地	4,462	4,437
その他(純額)	1,929	1,656
有形固定資産合計	10,081	9,517
無形固定資産		
のれん	706	548
その他	419	340
無形固定資産合計	1,126	888
投資その他の資産	3,197	3,448
固定資産合計	14,405	13,853
資産合計	48,045	45,106
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,540	2,111
電子記録債務	3,208	3,468
未払法人税等	581	109
賞与引当金	417	150
役員賞与引当金	9	—
製品保証引当金	309	317
受注損失引当金	41	1
その他	2,674	2,522
流動負債合計	10,783	8,680
固定負債		
長期借入金	86	28
退職給付に係る負債	55	48
役員退職慰労引当金	12	12
資産除去債務	52	52
その他	1,420	1,496
固定負債合計	1,628	1,639
負債合計	12,411	10,319

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	6,914	6,914
利益剰余金	22,441	22,605
自己株式	△1,090	△1,008
株主資本合計	35,161	35,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	823	1,036
土地再評価差額金	△659	△659
為替換算調整勘定	532	△806
退職給付に係る調整累計額	△224	△189
その他の包括利益累計額合計	472	△620
純資産合計	35,633	34,787
負債純資産合計	48,045	45,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	25,224	25,662
売上原価	16,193	16,812
売上総利益	9,031	8,850
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,134	2,186
賞与引当金繰入額	44	43
製品保証引当金繰入額	155	155
貸倒引当金繰入額	5	—
のれん償却額	—	47
その他	4,709	4,844
販売費及び一般管理費合計	7,050	7,276
営業利益	1,980	1,573
営業外収益		
受取利息	21	12
受取配当金	124	79
その他	71	60
営業外収益合計	217	152
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	49	220
支払手数料	9	7
その他	7	21
営業外費用合計	67	250
経常利益	2,130	1,475
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	26	—
特別利益合計	26	3
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損	—	6
特別損失合計	0	7
税金等調整前四半期純利益	2,156	1,472
法人税、住民税及び事業税	754	508
四半期純利益	1,402	964
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,383	964

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,402	964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	212
為替換算調整勘定	△74	△1,339
退職給付に係る調整額	0	34
その他の包括利益合計	△130	△1,092
四半期包括利益	1,271	△127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,246	△127
非支配株主に係る四半期包括利益	25	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	20,363	3,838	1,021	25,224	—	25,224
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	184	1	189	△189	—
計	20,367	4,023	1,022	25,413	△189	25,224
セグメント利益	1,608	371	0	1,981	△1	1,980

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「装置事業」において、QUALMARK CORPORATIONの全株式を取得し、QUALMARK CORPORATIONおよびその子会社 Real Chambers Corporation を連結の範囲に含めております。

当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては729百万円であります。

なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	21,060	3,885	716	25,662	—	25,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	185	1	202	△202	—
計	21,076	4,070	717	25,864	△202	25,662
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,396	243	△69	1,571	2	1,573

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。